

第12回 AIDS文化フォーラム in 京都 報告書



テーマ:

もう一度考えよう
HIV/AIDS
『つなぐ』『つながる』
今、できること

レッドリボン大作戦

2022年10月8日(土)、9日(日)

〈開会式・全体会は、YouTubeにてライブ配信〉

会場 = 龍谷大学深草キャンパス和顔館

主催 = AIDS文化フォーラムin京都 運営委員会

共催 = 京都府、京都市

私たちがつくっている薬の多くは、ふだん接することはあまりない。
けれどその薬があることで守られているふつうの暮らしが、きっとある。
病気になってしまったとき、ちゃんと治療法があること。
それはこの世界になくてはならない希望。
当たり前の日々を守り抜くために、今日も新たなイノベーションを。

なんでもない1日を守れ。

創造で、想像を超える。



中外製薬

Roche ロシュグループ



Chugai Innovation Lab

第12回AIDS文化フォーラム in 京都をふりかえって

新型コロナウイルス蔓延の影響で、2020年、2021年は、全体会のみWeb開催となっていました。しかし、今回、龍谷大学のご厚意で、3年ぶりに念願の現地開催を行うことができました。龍谷大学は、とても適切な感染対策の基で講義を行っておられ、AIDS文化フォーラムin京都もその基準を守って、実施いたしました。

テーマは「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」～「つなぐ」「つながる」今、できること～レッドリボン大作戦といたしました。

全体会は、大学生の運営委員から、性感染症予防をきちんと勉強したいという意見があり、初心に戻って、大阪公立大学大学院看護学研究科の佐保美奈子先生に、「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」のご講演を依頼いたしました。

発表・展示演題の申込数は第9回までの半分以下でしたが、それぞれ、興味深い内容で、各教室30人～60人の参加数があり、密集せずに、発表者、参加者が一体となって、課題を共有できたと思います。やはり現地開催は良いですね。



エイズを知ろう、エイズで学ぼう

運営を支えるサポートスタッフとしても、2日間でのべ51名の方にボランティア参加いただきました。例年の準備と片付け、各発表演題の担当だけでなく、終日会場入り口で、有症状者や、濃厚接触の有無の確認を実施くださいました。そして、ほとんどの方から「とても楽しかった」という感想をいただきました。

結局、現地参加でのべ400名、全体会のみWeb配信でさらに200名以上の方が参加くださいました。

それでは、開催の記録をご覧ください。

AIDS 文化フォーラム in 京都 運営委員会



龍谷大学深草キャンパス正門



龍谷大学深草キャンパス東門

| | | | |
|----------------------------|----|----------------------------|----|
| 第12回AIDS文化フォーラムin京都をふりかえって | 1 | 日本ことば学協会～今まで見えなかった | 12 |
| 目次 | 2 | 「ことばの統計」をとり、見える化した学問です。 | |
| 発表プログラム一覧 | 3 | 元風俗嬢から見る夫婦間の浮気とセックスレス | 13 |
| 開会式 | 5 | 集まれ！性教育をやりたいあなたの居場所Vol.2 | 13 |
| 【全体会】 | | 【展示】 | |
| 「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」 | 6 | 展示出展一覧 | 14 |
| 【発表】 | | メモリアルキルト展・テディベア基金の紹介 | 15 |
| HIV感染症：治療のアップデートとコロナ禍でも | 7 | カトリックHIV/AIDSデスク | 15 |
| 増えるその他の感染症 | 7 | 多様な性に関する龍谷大学の取り組み | 16 |
| お坊さんが行う性教育授業 ver.10 | 7 | 広がるAIDS文化フォーラム | 16 |
| NAとは～なぜ、私たちはここにいるのか～ | 8 | 第30回エイズキャンドルパレードを振り返って | 17 |
| ウイルス母子感染！～正しく知って正しく防ごう | 8 | 生活を支える制度やサービス | 17 |
| 宗教とエイズ | 9 | 京都府のエイズ等啓発資材の展示について | 18 |
| 男同士で結婚式を挙げて18年～変わったこと、 | 9 | 京都市～啓発物の展示及び動画の上映 | 18 |
| 変わらないこと～ | | 閉会式 | 19 |
| ピア・エデュケーション！みんなで話そう(・v・) | 10 | コンドーム提供 | 19 |
| 学校で教えてくれないエイズのこと | | 入場者アンケートまとめ | 20 |
| 看護師が語るHIV/AIDSいろいろわかる基礎講座 | 11 | 趣意書 | 21 |
| ～ 2人でトーク+みなさんと考えたい ～ | | 運営委員会規約 | 22 |
| 法円坂薬局・きらめき薬局 Presents | 11 | 主催・共催・後援・会場提供 | 23 |
| ～アロマオイルを使った癒しグッズ作成 | | 協賛 | 24 |
| コンドームソムリエが教える、コンドームの選び方 | 12 | 第12回AIDS文化フォーラムin京都を支えた人たち | 25 |
| 「押しコン方程式」 | | ひだまりの場所～テーマソング～ | 26 |

第12回AIDS文化フォーラムin京都 報告書

発行日： 2022年12月4日

発行者： AIDS文化フォーラムin京都運営委員会

表紙・キャラクターデザイン： 池田勝俊

連絡先： AIDS文化フォーラムin京都事務局

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA内

tel. 075-231-4388 fax 075-251-0970

E-mail: information@hiv-kyoto.com URL: <http://hiv-kyoto.com>

第12回AIDS文化フォーラムin京都 プログラム

10月8日(土)

| 部屋 | 12:30~13:00 | 13:00~14:30 | 休憩 | 15:00~16:30 | 休憩 | 17:00~18:30 |
|------------|---|--|--|--|---|-------------|
| B201 (450) | 開会式 (B201号室) | 全体会 (B201号室) | | | | |
| B102 (200) | 1.開会イベント (司会 赤十字京都ユース) テーマ曲演奏 (シンガーソングライター 江藤天音) 各地のフォーラムから応援メッセージ 2.「開会宣言」 (運営委員) YouTubeライブ配信 | 「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」 (大阪公立大学大学院看護学研究科 母性看護学 助産学 セクシユアルヘルス支援 准教授 佐保美奈子) YouTubeライブ配信 | 「HIV感染症:治療のアップデートとコロナ禍でも増えるサル痘など他の感染症」 (関西HIV臨床カンファレンス) 注射剤などHIVの治療の最新情報とサル痘など新たな感染症についての最新情報をご提供します。 | 「お坊さんが行う性教育授業 ver10」 (浄土真宗本願寺派 僧侶 古川潤哉) 「生と性と死を考える」と題し、主に佐賀県の中学3年生向けに行っている内容を模擬授業の形で実演いたします。多岐にわたる思春期の悩みを根っこの部分でカバーする内容です。 | 「ウイルス母子感染!~正しく知って正しく防ごう~ コロナ、HPV、そしてHIV。赤ちゃん産めるの?普通に暮らせるの?そんな疑問、不安、ここで一緒に語りあひましょう。」 (厚労科研喜多班) コロナ、HPV、HIV。正しく知って、正しく防ぎましょう。ウイルスの特徴や、母子感染予防についていっしょに語り合ひましょう! | |
| B103 (200) | | | 「NAとは~なぜ、私たちはここにいるのか~」 (NA(ナルコティクス アノニマス) 関西エリアコミティ) 薬物に問題を抱える方が集まる自助グループ『NA(ナルコティクスアノニマス)』のご紹介・実際のミーティングを模したモデルMを行います。 | 「宗教とエイズ」 仏教者、キリスト者が登壇し、宗教や信仰という観点から、AIDS/HIVをはじめとする病気やそれまつわる差別について、また、性やセクシユアリティをどのように受け止めているのか、どこを目指すのかということプロアの皆さんと一緒に考えます。 | | |
| B104 (200) | | | | | 「男同士で結婚式を挙げて18年 ~変わったこと、変わらないこと~」 (そう&カッシー) 名古屋のイベント(NLGR)で2004年に結婚式を挙げて18年。お互いそれなりにいい年になり、法律的に「家族」になれる同性婚にちよつと期待していたりもするゲイカップルのお話です。 | |
| B110 (100) | | | | | 「ピア・エデュケーション!みんなで話そう(・v・)学校で教えてくれないエイズのこと」 (青年赤十字奉仕団) 若者による、若者にもわかりやすいHIVやAIDSの知識や、恋愛のコツを一緒に勉強しましょう!! | |

10月9日(日)

| 部屋 | 10:00~11:30 | 休憩 | 13:00~14:30 | 休憩 | 15:00~16:30 | 16:30~17:00 |
|------------|---|----|---|---|--|--|
| B201 (450) | | | | | | 閉会式 (B201号室) |
| B102 (200) |  | |  | | 「元風俗嬢から見る夫婦間の浮気とセックスレス」 (愛花(元カリスマソープ嬢 男心専門家)) | 閉会式 (司会 京都府) 閉会宣言 (代表幹事 高折晃史) |
| B103 (200) | 「看護師が語る HIV/AIDS いろいろわかる基礎講座~ 2人でトーク+みなさんと考えたい ~」 (山田雅子 星野貴泰) 看護師の星野と山田が「HIV/AIDSについてまだよくわからない」という方に向けた基礎講座をします。気楽な気持ちで参加して下さい。 | | 「コンドームソムリエが教える、コンドームの選び方「推しコン方程式」」 (コンドームソムリエAi) 国内で買えるコンドームはなんと約130種類! それなのにほとんどの人がコンドームをなんとなく選んでいます。「推しコン方程式」を使って、自分にぴったりの推しコン(ドーム)を探しましょう! | 「生まれ! 性教育をやりたいあなたの居場所Vol. 2」 (星野 貴泰) 性教育をやりたい、性教育の仲間が欲しい! その思いからコロナ禍にスタートしたオンラインコミュニティで共有した想いや学びを紹介します。そしてメンバーそれぞれにとっての性教育のお話もありますよ!! | | |
| B104 (200) | 「法円坂薬局・きらめき薬局 Presents アロマオイルを使った癒しグッズ作成」 (調剤薬局グループ 法円坂メディカル) お気に入りのアロマオイルの癒しグッズを作成し、実際に効果を体験してみよう | | 「この世に必要なない人なんて存在しない。みんなちがってみんないい。人それぞれの価値観や概念、ものさしを見る化し、どう生きたら我が人生悔いなしか、自分発見していただくきっかけになれば嬉しいです。」 (一般社団法人日本ことば学協会) | 3h4.org/(日本ことば学協会HP) 今まで見えなかった「ことばの統計」をとり、見える化した学問です。自分発見だけでなく、相手を知るためのツールとして、またあらゆるコミュニティの場で役立てていただけます。 | | |

- 共に生きる
- 予防
- 文化
- 薬物
- セクシユアリティ
- 教育
- 保健・医療・福祉
- 若者

会場風景



1階会場入口



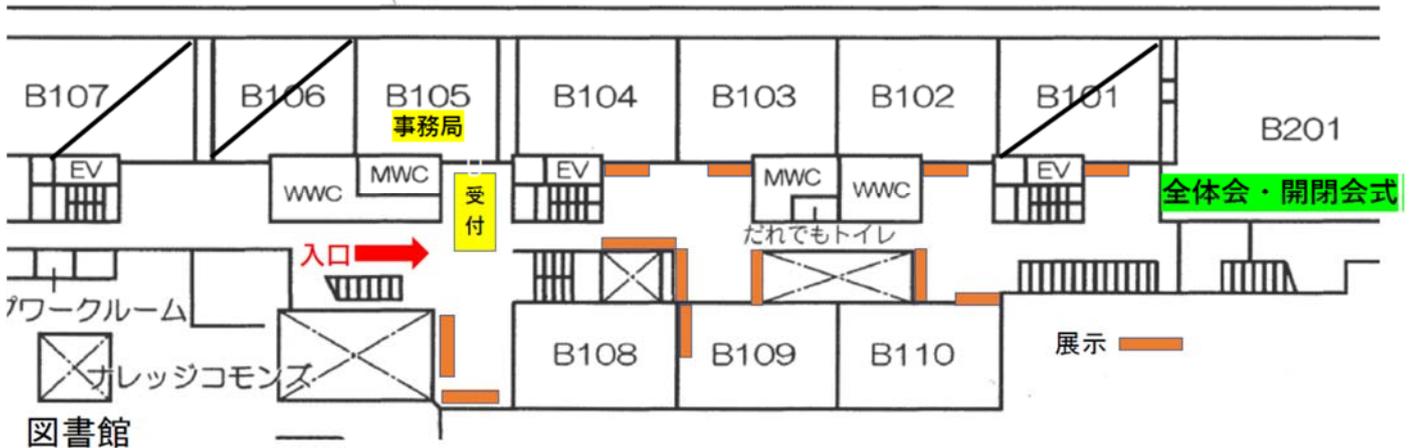
健康チェック



会場受付



和顔館地下1階



開会式

司会： 青年赤十字奉仕団/京都第一赤十字病院

看護専門学校 堀之内 潤、内田 愛

開会の挨拶： 事務局長 大野聖子

テーマソング演奏： 江藤天音(東京から)

各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ：

陸前高田 佐々木亮平、 横浜 山田雅子、

名古屋 籠谷倫親、 佐賀 古川潤哉



開会の挨拶



司会 青年赤十字奉仕団

内田 愛 堀之内 潤



テーマソング演奏 江藤天音



横浜 山田雅子



佐賀 古川潤哉

全体会

「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」

佐保美奈子(大阪公立大学大学院 看護学研究科 准教授
母性看護学 助産学 セクシュアルヘルス支援)

助産師として16年間周産期センターで勤務の後、看護・助産教育にたずさわっています。12年間、厚労省のエイズ対策政策研究班の研究分担者として地域でのHIV看護・介護の質の向上と学校での性教育に取り組んできました。今も続いているコロナ禍でのエイズ文化フォーラムで、これまでの取り組みをふりかえりながら、HIV・性感染症、新型コロナ感染について皆で共有したいことをお伝えしました。

1. ひとを好きになる気持ちはよりよく生きるエネルギーとして最大のものです。好きになる対象は異性だけでなく同性もあります。同性愛は異常じゃないのでいじめたりからかうのはやめましょう。
2. デズモンド・モリスのふれあいの12段階について紹介し、こころとからだの深いふれあいには「性的同意」がだいじなことをお伝えしました。性的な行為への参加には、お互いの「したい」という“明確”で“積極的な意思表示”があることが大切です。おたがいに「したい」と確認して行為を始めた時でも、途中で何回か確認が必要です。
3. HIV感染・性感染症については、新型コロナ感染のように報道されていません。セックスによって感染する病気というと、特別な人だけのことのように思われますが、セックスは大人の日常生活の一部ですので、性感染症は大人の生活習慣病と捉えることができます。予防と検査が大切ですので、「コンドーム達人講座」やセーファーセックスの具体的な内容を動画で紹介しました。HIVに感染しても6か月以上内服治療を続ければ、U=U：ウイルス量が検出限界以下 (Undetectable) になり、セックスをしても人に感染させない



(Untransmittable) 状態を維持することができることも知っていただきたいです。HIVに感染していない人が用いるPrepについても紹介しました。

4. 新型コロナだけでなく、新しい感染症は常に発生しています。感染症に自分から意図的に感染しようとして感染する人はいません。病気そのものを怖がる、避けたいと思うのは自然ですが、恐怖のあまり感染者を排除する、いじめるのは困ります。客観的な判断と理性的な行動をとりましょう。これまで多くの病気について、まるで患者自身に責任があり、責められるべきで、社会から排除されて当然という恐怖と誤解に基づく偏見差別が重ねられてきました。新しい挑戦に対応する知恵とやさしさでのぞみましょう。「正しさ」より「やさしさ」を！

連絡先: midwifeminako@yahoo.co.jp



HIV感染症：治療のアップデートと コロナ禍でも増えるサル痘などその他の感染症

関西HIV臨床カンファレンス

団体紹介：関西HIV臨床カンファレンスはHIV診療の向上及び HIV感染症の研究を推進することを目的とした医療従事者の団体です。

コロナウイルスの世界的流行の中でHIVの治療は日々改良が加えられています。今回はその治療アップデートと昨今欧米で増加しているサル痘に関する概略を提示しました。

まず、兵庫医大澤田先生からはHIV薬の変化について説明しました。その中では、初めてシートに入った薬が登場した事、2剤治療における長期のデータ、あるいは今年に承認されました、注射薬について紹介してもらいました。

また、南奈良総合医療センター宇野先生からは最新のサル痘についての情報提供が行なわれました。その中では、ほとんどのケースで軽快している社会復帰可能な疾患である事、性別・性的指向関係なく長期間の接触により感染が成立する事、新しい情報が随時更新されている



ので正しい情報を得られる場所を確認する事などを紹介してもらいました。

医療の情報は日々更新されており、今後も新しい情報について継続して提供していきたいと思っています。

HP <https://www.kansai-hiv.com/>

お坊さんが行う性教育授業 ver.10

古川潤哉（浄土真宗本願寺派 僧侶）

団体紹介：佐賀県伊万里市の浄誓寺に所属する僧侶。

AIDS文化フォーラムin佐賀 運営委員

小中高校などで「生と性と死を考える」と題した性教育講演を行っており、公立校での宗教者の取り組みとして珍しいため、横浜、京都の当フォーラムにて模擬授業を行い、意見交換の場としている。今回も参加者には中学校3年生になりきって模擬生徒として受講していただき、自分の思春期時代ではなく、現代の若者の目線を推測しながら考える時間を持ってもらった。

生きること、死にゆくことと性のこと、いのちには繋がりがあがり、また限りがあること…有限であり無限であることを仏教の観点、ちょうど学校で教わる理科の観点から考える場となった。

大人の都合を子どもに押し付けるのではなく、子どもたちの関心と疑問に合わせて、生涯を通して自分も相手も大切にしていくなための考え方を持ってもらいたいという願いを共有しました。



【連絡先】 junya@joseiji.org

NA(ナルコティクス アノニマス)

～なぜ、私たちはここにいるのか～

NA(ナルコティクス アノニマス)

団体紹介:薬物依存からの回復の為に集まる当事者団体です。薬物から遠ざかり新たな生き方を目指す自助グループの1つです。

発表・展示内容:8日(土)に分科会発表とブース出展(文献販売)で参加させていただきました。

分科会の発表では当団体の説明、ご紹介をパワーポイント資料を用いて行い、その後NA会場で実際に行っているミーティングを肌で感じてもらうために、解説を交えたモデルミーティングを実施しました。非常に暖かい雰囲気の中それぞれの発表をさせていただきました。最後に質疑応答の時間を設けましたが、一部正確に回答できない質問があり、こちらの準備・経験不足を露呈してしまいましたが、今後の成長に活かせればと思います。

ブース出展では、無料で配布しているチラシや資料を置かせていただき、併せてNAで実際に用いている各種文献の販売を行いました。

久しぶりの開催ということもあり、全体の参加者が少

ないように見受けられた分、他団体の方との交流が少なかったのが少し残念でしたが、何よりもこのフォーラムが無事に会場で開催できたことに感謝しております。

来年のフォーラムには両日参加させていただき、様々な方とブースを通して交流できればと思います。

連絡先: kansai.area.pi@gmail.com(NA PIコミュニティまで)

送付物の宛先⇒〒540-0004大阪府大阪市中央区玉造1-4-14 NA 関西エリア 宛



ウイルス母子感染！～正しく知って正しく防ごう

コロナ、HPV、そしてHIV。赤ちゃん産めるの？普通に暮らせるの？

そんな疑問、不安、ここで一緒に語りあいましょう。

厚生科学研究補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」喜多班

団体紹介:「HIV母子感染予防に関して全国調査をもとに妊娠・分娩に関するガイドラインやマニュアルを作成し、さらに国民や医療者への啓発活動を行っている。「国民へのHIV感染妊娠に関する情報の普及啓発」活動の一環として参加した。

班長(奈良総合医療センター 喜多さん)の挨拶から始まり、下記3種のウイルスに関して母子感染防法を中心にプレゼンテーションを行い、最後にフリートークを行った。①HPVウイルス(防衛医大 高野さん)②新型コロナウイルス(神戸大学 出口さん)③HIVウイルス(名古屋医療センター 羽柴さん)。フリートークでは、会場から「カップルの一方が感染してる際の妊娠法について」などの質問があり、HIV感染女性、妊婦を取

り巻く種々の問題について、議論ができた。特に、陽性者の分娩に関しては経膈分娩の導入を進めていくためには社会的なコンセンサスと、医療者・施設的环境整備の両面から考える必要があることを、再確認できた。また、医療者の中でも内科的立場と外科的立場で、U=Uを背景とする感染対策の考え方にもギャップがあることも判明した。24時間対応で安全性をいかに確保するかも課題であり、今後、正確な情報を伝えていく必要性と、医療者のなかでも多くの議論が必用なことを痛感した。

HIV感染妊娠と母子感染予防

令和4年度厚生科学研究補助金(エイズ対策政策研究事業)「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班 研究代表者 喜多和知



URL(喜多班): <http://www.hivboshi.org>

宗教とエイズ

谷 香澄 (日本基督教団 能登川教会
主任担任教師(主任牧師))
寺澤真琴 (浄土真宗本願寺派 清徳寺住職
近畿大学医学部 非常勤講師)
古川潤哉 (浄土真宗本願寺派 浄誓寺衆徒(僧侶))

AIDS文化フォーラムin横浜で始まり、各地のフォーラムで恒例の名物企画となった「宗教とエイズ」。宗教者がそれぞれの信仰に基づきつつ、AIDSを切り口として宗派を「代表せずに」話す貴重な場。今回は、主宰の岩室紳也先生(AIDS文化フォーラムin横浜/泌尿器科医)が学会参加の為フォーラムご欠席で宗教者のみの登壇となった。宗教が持つ救いとその対象は本来全ての人であるにも関わらず、世間の常識に引っぱられる形で差別が生じてしまっている状況などについて話が弾んだ。あらゆる人が拒まれることなく集える場としての教会、お寺を目指すものの、結局はその場に集う「人」の意識が変わらなければいかに教義で平等が説かれても人間社会の中で



ある以上教義通りにいかない状態であり、ここを変えていこうという努力がまさに今行われてるところである。宗教者のみの登壇であったことから、今回は会場からの質問と回答に時間を割くスタイルとし、複数の興味深い質問から会場でのやりとりも充実したものとなった。

男同士で結婚式を挙げて18年 ～変わったこと、変わらないこと～

そう&カッシー

横浜市に在住しているゲイカップルです。

45歳の「そう」と、60歳になった「カッシー」、それと18歳の犬(パピヨン)「ファン」で暮らしています。



ました。

そのことも絡めながら、2004年に名古屋のイベント「NLGR」(※)で行われた同性結婚式で挙式して、それから18年の暮らしの中で感じていることをお話しさせていただきました。

カッシーの定年、親の老いや旅立ちなど周囲のライフステージの変化もあり、今後どうしていこうかということもほんの少し話させていただきました。

※NLGRについて

NLGRは2001年から名古屋で行われているLGBTイベントで、公園でのイベントとHIV検査会をセットで行うイベントです。2020年から新型コロナウイルスの影響で3回連続延期となってしまっています。



HIV検査は迅速検査ではなく、2日で確認検査済みの結果が出るという特徴的なものです。

連絡先:sou21century@gmail.com

個人宅のため、住所の開示はご容赦ください。

ピア・エデュケーション！

みんなで話そう(・▽・)学校で教えてくれないAIDSのこと

京都府青年赤十字奉仕団(赤十字京都ユース)

団体紹介: 赤十字を母体とする若者のボランティア団体です。全国車いす駅伝競走大会の運営や、献血の呼びかけ、青少年の育成など、赤十字事業の推進及び、保健衛生や社会福祉等の向上のために活動しています。

久々の対面開催で、一般の参加者さんを迎え、年齢や立ち場などが近い者同士で学び合うピア・エデュケーションという手法を用いたワークショップを開催しました。エイズの基礎知識を学ぶだけでなく、言いにくいことを相手に伝えるにはどうすれば良いかなどを語り合いながら、自分や未来の大切なひとをエイズ、性感染症から守るチカラを身につけるプログラムを実施しました。

グループディスカッションでは明るい雰囲気の中で、いろんな意見交換ができました。

連絡先: 赤十字京都ユース 京都市東山区三十三間堂廻り町644 日本赤十字社京都府支部内 TEL 075-541-9326



10周年記念誌も配布しました



事務局の風景

看護師が語るHIV/AIDSいろいろわかる基礎講座

～2人でトーク+みなさんと考えたい～

山田雅子 星野貴泰

3年ぶりの対面での開催に参加できたことに心から喜びと感謝を申し上げます。

以前は一人で基礎講座をしていました山田ですが、コロナ禍にあってなお積極的に性教育の活動をしている星野貴泰さんと看護師同士のトークを交えた講座をもつことに。

前半では、HIVとは？AIDSとは？などウイルスや病気についての全体像と、今年認可された新しい治療法である注射薬のことをお話しました。人はひとりひとり違うので「正解」が決まっている訳ではありません。その人にとってよりよい選択ができるための情報提供をし、その人に寄り添っていきたいという思いは一緒でした。

後半は「文化」としてHIV/AIDSを取り巻く活動を振り返り、社会的な問題や生きづらさを背景とした性の問題を考える機会が増えたことに言及し「性的同意」というキーワードで「同意」とは何か？自分たちにできることは何かをフロアの方々と話し合いました。



フロアからも意見を頂き、同意とは相互に相手の気持ちをくみ取ろうとする心をどう行動にするのかということが大事だと改めて考える時間となりました。今後も皆さんと考え続けていきたいと思います。

連絡先:

山田雅子 E-mail: yamada@wasedasokki.jp

星野貴泰 E-mail: tkstarys.lovelives@gmail.com

URL : <http://www.tkstarys.com>

法円坂薬局・きらめき薬局 Presents

～アロマオイルを使った癒しグッズ作成～

調剤薬局グループ 法円坂メディカル株式会社

団体紹介: 大阪市を中心に12店舗を展開する調剤薬局グループであり、そのうち4店舗で抗HIV薬院外処方せんを応需している。平成13年から応需しはじめ登録患者数は600名を超える。

ハンドクリームとアロマスプレーの作成体験を実施しました。当薬局グループに所属する2名のアロマセラピストより、精油についてのお話と生活への取り入れ方などについて説明の後、実際に精油を使って癒しグッズを作成しました。男女問わず多くの方が参加され、作成したハンドクリームとスプレーをお持ち帰りいただき、とても喜んでいただきました。

体験後のアンケートでは「少し疲れていたが、アロマの香りで良い時間を過ごせました。」「自分でブレンドする機会はないので楽しめました」など、たくさんのコメントを頂きました。この活動を通じて、アロマによる癒しを生活に取り入れる一つのきっかけになれば良いと思います。



連絡先 法円坂メディカル株式会社

大阪市中央区谷町4-3-2

電話: 06-6943-7066

FAX: 06-6943-7220

コンドームソムリエが教える、 コンドームの選び方「押しコン方程式」

コンドームソムリエAi

(現役養護教諭+思春期保健相談士+公認心理師)

現役養護教諭でありながら、国内約130種のコンドームを識
るコンドームソムリエ®

実物に触って嗅いで引っ張れる「コンドーム試触会®」
はこれまでに東京、大阪、福岡で開催してきましたが、
コロナ禍になってからはオンライン開催のみとなって
おりました。今回、久しぶりに対面でのコンドーム試触会
を開催することができ、本当に沢山の方にご参加いた
だきました。思わず使ってみたくなる、コンドームの魅力が伝わって
いたら嬉しいです。

皆さんの押しコン探しのお役に立
てますように。

連絡先 info.aiconj@gmail.com



日本ことば学協会

今まで見えなかった「ことばの統計」をとり、見える化した学問です。

一般社団法人日本ことば学協会

団体紹介:今まで見えなかった「ことばの統計」をとり、見え
る化した学問です。自分発見だけでなく、相手を知るための
ツールとして、また、あらゆるコミュニケーションの場で
役立てていただけます。

当日は大変お世話になりました。

2日目の午後2コマを担当させていただきました。
ことば学の8640万件のデータを元に、自分発見するこ
と、ことばのおもてなしについて、そして、誰一人必要
のない人間なんていないということをお話させていただきました。

まだまだ小さな団体ですので周知は少々大変でしたが、ご参加くださった皆様に喜んでいただけるよう、工夫しながら進めさせていただきました。

次回、もう一度させていただけるのであれば、今回の
反省を活かし、ご参加いただいた方々同士のワークも取
り入れていきたいと思っております。



当方としても大変貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

連絡先:一般社団法人 日本ことば学協会

大阪市浪速区元町1-7-16-3F

理事 横山紀江

元風俗嬢から見る夫婦間の浮気とセックスレス

愛花(元カリスマソープ嬢 男心専門家)

第7回(第8回は台風で登壇予定が中止)より久々に登壇いただきました。いつもながらの大人気でした。



集まれ！性教育をやりたいあなたの居場所Vol. 2

星野貴泰と性教育コミュニティkokorocolor メンバー

団体紹介:手術看護師兼性教育講師の星野貴泰と性と性教育の居場所を求めた人たちです

性教育の仲間が欲しい！そこから始まったオンラインコミュニティ kokorocolor で共有した思いや学び、実践を紹介しました。

性教育講師をされる”にじいろ”さん、”助産師たなかまゆ”さんとトークをし、コミュニティメンバーから5名からそれぞれの立場での性教育と性教育を始めたきっかけについて発表いただきました。

来場者からは「性教育は幅が広いからこそ、性教育をやりたいと思ったきっかけを知れて親近感が湧いた。自分にはない悩みや視点を知ることで自分の価値観が広がった」といった感想をいただきました。

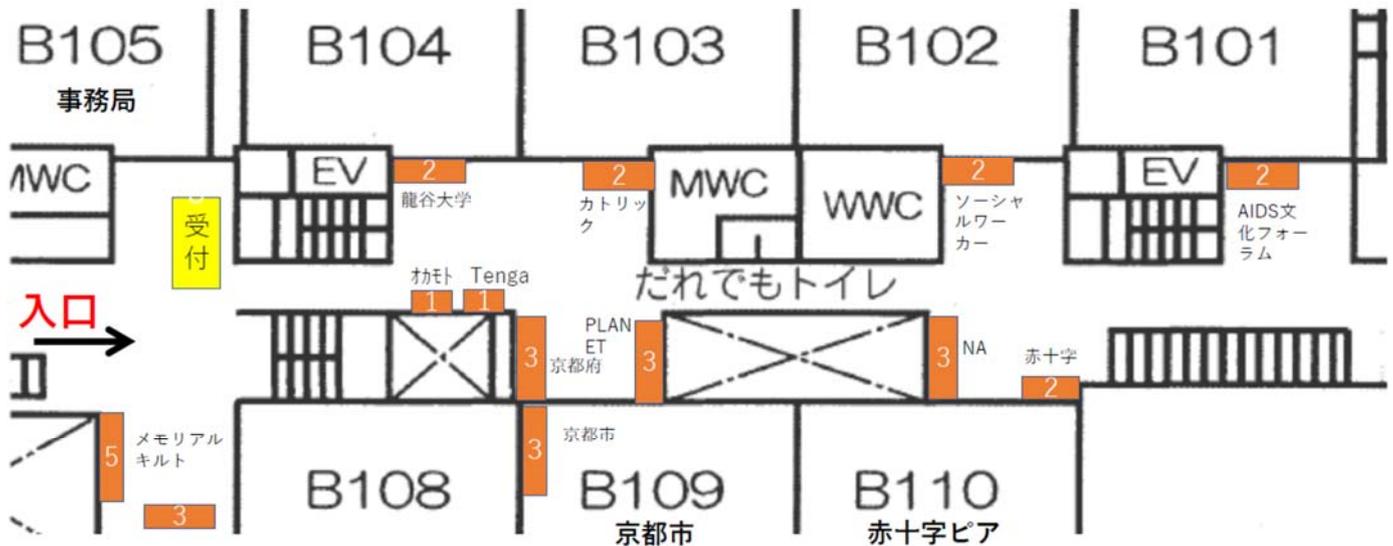
連絡先 星野貴泰

E-mail: tkstarys.lovelives@gmail.com

URL: tkstarys.com



展示発表配置図



| 出展者・グループ | 紹介 |
|---|---|
| メモリアルキルト | エイズで亡くなった人の存在を1枚の布で表現したメモリアルキルトを展示し、生きた記録をどうしてこれからの活動に活かすこと |
| 龍谷大学 | 多様な性に関する龍谷大学の取り組み LGBTQ+/SOGIの課題やトイレをめぐる取り組みなどを紹介します。 |
| カトリックHIV/AIDSデスク | 1995年から、講演会、小冊子、ポスター、ミニカードの発行、レッドリボンの啓発グッズの紹介などを通して、正しい知識を得ることで、偏見・差別をなくそうと呼び掛けています。 |
| PLANET(HIVとともに生きる会) | エイズキャンドルパレード30周年を迎え、その歴史を振り返ります。 |
| NA(ナルコティクス アノニマス)とは～薬物依存からの回復～ | 薬物に問題を抱える方が集まる自助グループ『NA(ナルコティクスアノニマス)』を紹介する展示とチラシなどの配布、書籍の販売を行います。 |
| 京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課 | 京都市で作成したHIV啓発動画(10分)を休憩時間に上映します。世界エイズデー啓発キャンペーンで高校生たちの意見を得ながら作成しました。また京都市の啓発物やデーター等の展示も行います。 |
| 京都府健康対策課 | 京都府で作成した啓発グッズの展示を行います。今年度はマスクングテープを作成しました。 |
| 医療ソーシャルワーカー有志 | 治療を継続しながら生活していく中で様々な心配事があるかもしれません。生活を支えるサービス、制度を紹介、現在の状況とそれに対する取組等展示します。 |
| 全国青年赤十字奉仕団 | 2010年から全国展開でHIVのピア・エデュケーションを実施しています。その様子を展示します。 |
| AIDS文化フォーラムin横浜 AIDS文化フォーラムin陸前高田 AIDS文化フォーラムin佐賀 AIDS文化フォーラムin名古屋 | 広がるAIDS文化フォーラム 横浜、京都、陸前高田、佐賀、名古屋へ広がったAIDS文化フォーラム！日本のどこでも、何においても「ともに生きる」を考え続けるために |
| オカモト株式会社 | オカモトは、コンドームメーカーとして、HIV/AIDSをはじめとするSTI(性感染症)予防啓発活動に取り組み、正しい知識と情報の提供に努めています。今回は「ゼロゼロスリー」を提供いたします。 |
| TENGAヘルスケア | 性の悩みや問題を解決したい Improving Sexual Wellness. 社会・個人の性にまつわる悩みや諸問題を解決します |

メモリアルキルト展・テディベア基金の紹介

メモリアル・キルト・ジャパン(MQJ)

活動紹介: AIDSで亡くなった人たちの生きた記録として作られたメモリアルキルト。90cm×180cmの布にはその人の名前やメッセージ、思い出のものが縫い付けられています。MQJはキルトを作るサポートやキルト展示などでメモリアルキルトを通してHIV/AIDSのかかえる問題を共に考えていきます。また、陽性者の方々へ経済的支援となるテディベア基金を設けており、ボランティアとしてできるテディベア作りのワークショップも行っています。

コロナ禍で2年間はオンラインでの開催でキルト展示はできず、3年目にメモリアルキルトを見ていただくことができました。受付横のスペースにパネルだけでなく、長机を2段にして見やすくセット。備え付けの大テーブルには贅沢に場所を取り、テディベアを並べ、テディベア基金の紹介も行いました。

ワークショップとして時間を設けていたわけではありませんが、作りたいと言ってくくださった方々が2日間ともありました。フォーラムボランティアの合間をぬっ

て、コロナの年入学の3回生、看護学部で授業も実習も大変な中、ボランティアをしてくださることに感謝！テディベア作りに挑戦してくれることにも感謝！京都第一赤十字病院の看護師さんたちもキルト展示のお手伝いをチームワーク良くしてくださいました。今年はキルトを会場1階の手すりから吊り下げることにしましたため、数名の手が必要でしたのでとても助かり感謝！やはりメモリアルキルトは実際に目にしてもらえることが大切です。キルトと向き合ってそのメッセージに耳を傾けることの大切さを改めて感じました。



連絡先: 〒600-8871京都市下京区西七条北東野町39-1
寺口方 Fax:075-325-1950
mail: info@mqj.jp URL: <http://mqj.jp/>

カトリックHIV/AIDSデスク

カトリック中央協議会HIV/AIDSデスク

団体紹介: 1995年から、感染拡大や偏見・差別をなくそうと、HIV/AIDSの正しい最新の情報を広める啓発活動を行っています。

啓発メッセージの展示と、デスクのシンボルマークである十字架とリボンを組み合わせたオリジナルレッドリボンデザインした啓発品の頒布を行いました。久しぶりの現地開催で皆様方と顔を合わせ、思いを分かち合い、情報交換をすることができました。来場者数はコロナ禍前に比べ、少ないように思えましたが、出展者が熱い思いを持って展示やプログラムを行っていることを感じました。来場者、他のブースの出展者とも、コロナ禍でどのような啓発活動を行ってきたか、これからどうありたいかなど、忌憚のない話をすることができました。

人との結びつきの大切さを再認識するとともに差別のない、誰も置き去りにしない社会作りへの思いを新たにできる機会となったと思います。



連絡先 カトリック中央協議会 社会福音化推進部
HIV/AIDSデスク
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10日本カトリック会館
Tel.03-5632-4414 Fax03-5632-7920
E-mail: hiv aids@cbcj.catholic.jp
URL: <http://www.cath-aids-desk.jp/>
<http://www.facebook.com/hiv aidsdesk.cbcj/>

多様な性に関する龍谷大学の取り組み

龍谷大学

団体紹介：創立1639年、京都と滋賀にキャンパスのある総合大学です。浄土真宗の精神を建学の精神として、AIDSや性の多様性など人権の課題に取り組んでいます。

数年来取り組んできたLGBTQ+など性の多様性に関する冊子「大学生のためのLGBTQサバイバルブック」や人権冊子「白色白光」の展示・配布などをおこないました。

また、法学部の学生が積極的にAIDS/HIVについて学び、京都市と協力して作成した世界エイズデーに関するポスターや啓発グッズを展示しました。

今後も少しずつ理解の輪が広がっていくことを願っています。



連絡先 龍谷大学

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

<https://www.ryukoku.ac.jp>

HP <https://www.kansai-hiv.com/>

広がるAIDS文化フォーラム

広がるAIDS文化フォーラム

団体紹介：1994年に横浜で始まったAIDS文化フォーラムの活動は、2011年度の京都初開催へつながったことを皮切りに陸前高田、佐賀、名古屋と、全国へ広がりました。各地のAIDS文化フォーラムはそれぞれが地域特性に沿った独自のフォーラムを創っています。お互いに知恵を出しあう、企画協力しあうことで互いの活動をサポートしています。各地の連携効果を高めるために年に一度、代表者が集い、フォーラムの課題や今後のチャレンジを議論する広域連携ミーティングを開催しています。

コロナ禍により開催を断念、もしくはオンラインでの開催が続きましたが、横浜では今年は初めてハイブリッドで開催することができ、閉会式では各地のフォーラムとつながり、京都へのバトンを渡すことができました。

人と人との交流の大切さを改めて感じたフォーラム、各地の連携のもと、このつながりをさらに強めていきたいと思えます。



連絡先 AIDS文化フォーラムin横浜事務局

〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7 横浜YMCA内

Tel 045-662-3721(代) Fax 045-651-0169

E-mail abf@yokohamaymca.org

URL <https://abf-yokohama.org/>

第30回エイズキャンドルパレードを振り返って

PLANET (HIVとともに生きる会)

団体紹介: 1992年に石田吉明さんらと立ち上げた。

5月の第2土曜日に、エイズキャンドルパレードを実施している。エイズデーの取り組みなど他団体と共に活動もしている。

今年第30回エイズキャンドルパレードを実施。コロナ禍での2年間で鴨川の土手でのアピールで継続したことで、今年の30周年に繋げることができた。参加者は少ないが東京や名古屋からも参加され、アウトリーチも常設の店舗のご協力を得られた。2年ぶりに河原町や四条通りをパレードできたことに、参加者一同思いを共有できた。

展示では毎年のチラシの中から紹介し、第2回めのチラシから、特徴的なチラシを展示。薬害エイズの歴史を年表にし、忘れ去られている薬害の歴史を読んで頂いた。関心を持っておられた方々との交流ができた。

連絡先: 075-622-6889 小田切 孝子



生活を支える制度やサービス

医療ソーシャルワーカー有志

新居 加菜(滋賀県滋賀医科大学医学部附属病院 患者支援センター)

楠 寿子(京都市立病院 患者支援センター相談支援室)

隈村 綾子(京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部)

松井 久典(京都第一赤十字病院 医療社会事業課)

団体紹介: 医療ソーシャルワーカー(MSW)は保健医療機関において、社会福祉の立場から、患者・家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務をおこないます。つまり、気持ちと暮らしを支える相談援助職です。拠点病院には医療ソーシャルワーカーが配置されています。滋賀県、京都府の拠点病院のMSW有志で今回作成いたしました。

今回は、「HIV陽性者を支える制度」のお話しと課題と取り組みについて、ポスター作製し展示をさせていただきました。いくつかの冊子も自由にお取りいただけるように並べました。以前は、発表しアンケートを書いていたが、どのように感じていただいたか感じる手段が



ありましたが、今回は展示ということと、前に立って説明の時間は少ししかとれず。皆様とお話する時間がとれなかったのが残念です。来年こそは発表をと思っています。医療ソーシャルワーカー有志一同今後も連携を強め、患者さんと共に考え 共に歩めるよう研鑽に努めてゆきます。よろしくお願いいたします。

連絡先 京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部 医療ソーシャルワーカー 隈村 綾子
電話 075-751-4542

京都府のエイズ等啓発資材の展示について

京都府健康福祉部健康対策課

団体紹介: 京都府の保健所では、無料・匿名のエイズ相談、HIV、梅毒、性器クラミジア、B型肝炎、C型肝炎の検査を実施しています。また、地域の中学校や高校等に協力いただき、エイズ等性感染症に関する啓発活動や健康教育を実施しています。

今回は、京都府で作成した啓発グッズ（マスキングテープ、ふせん、マグネット、ピンバッジ等）とパンフレットの展示、紹介をしました。

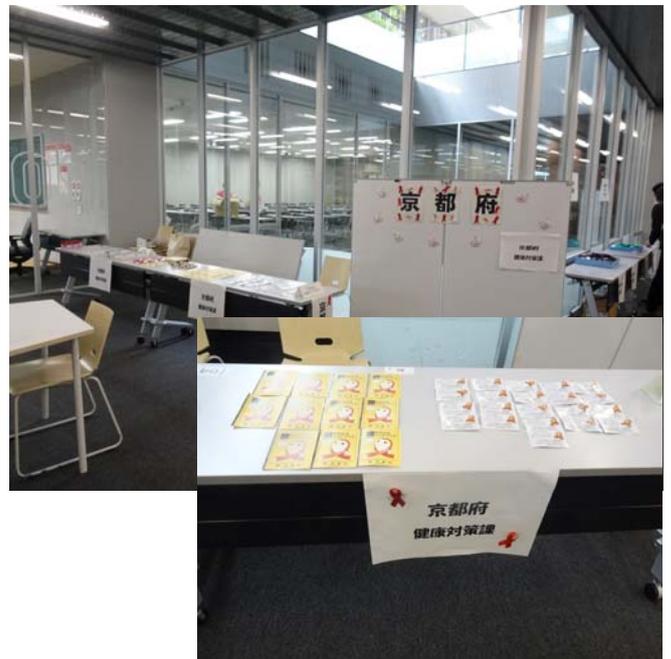
エイズ等性感染症に関するパンフレット「AIDS丸わかりハンドブック」は、市町村に協力いただき、成人式においても配布をしています。来場者の方には「エイズのことをぎっしりまとまっていたいいね」とお言葉をいただきました。

連絡先 京都府健康福祉部健康対策課感染症対策係

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

Tel:075-414-4723 Fax:075-431-3970

E-mail: kansen@pref.kyoto.lg.jp



URL: <https://www.pref.kyoto.jp/kentai/stopaids.html>

京都市

～啓発物の展示及び動画の上映～

京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

団体紹介 京都市ではHIV／性感染症対策として、検査や相談、学校や地域と連携した啓発活動等を行っています。その他、HIVや性感染症について多くの方に周知できるように関係機関と一緒に啓発物を作成しています。

【啓発物の展示】今回は昨年度に龍谷大学様と一緒に作成した啓発チラシやグッズをはじめとする啓発物を展示しました。また、検査会場の写真も展示しました。

各発表の休憩時間には、世界エイズデー啓発キャンペーンで作成した動画を上映しました。限られた時間でしたが、特に若い世代の方に足を止めていただき、見ていただくことができました。

近年、梅毒が増加していることもあり、HIVや性感染症の啓発は、今後も周知を広げる必要があると感じています。特に若年層に対しては、全体会の佐保先生の講義でも教えて頂いたような、わかりやすく、当事者の視点で考えられるような啓発を心掛けていきたいです。



連絡先: 京都市保健福

祉局医療衛生推進室医療衛生企画課

〒604-8101 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65

京都朝日ビル7階

TEL:(075)222-4421 FAX:(075)222-4062

京都市ホームページ

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-6-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

閉会式



司会 京都府 中川 拓也



閉会の挨拶 高折晃史代表幹事



オカモト株式会社

オカモトは、コンドームメーカーとして、HIV/AIDSをはじめとするSTI(性感染症)予防啓発活動に取り組み、正しい知識と情報の提供に努めています。今回は「ゼロゼロスリー」を提供いたします。



TENGAヘルスケア

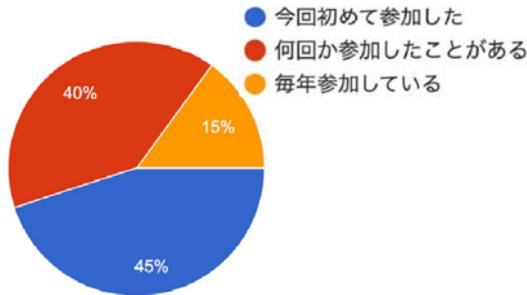
性の悩みや問題を解決したい
Improving Sexual Wellness.
社会・個人の性にまつわる悩みや諸問題を解決します



アンケート結果

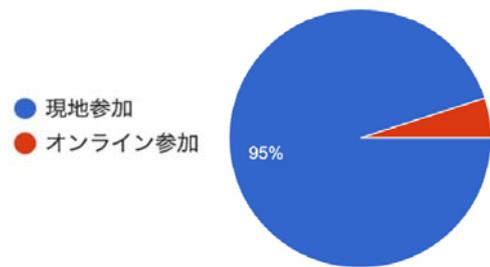
AIDS文化フォーラムin京都に参加されたことはありますか？

20件の回答



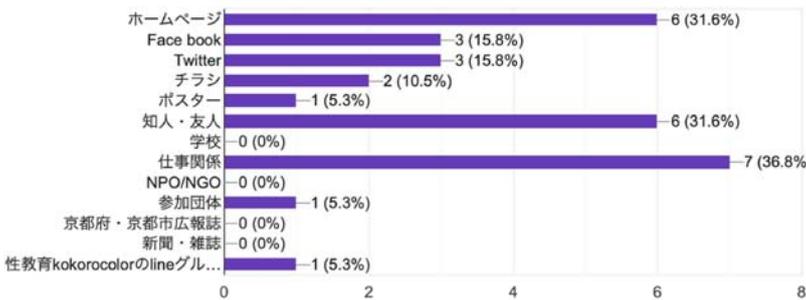
参加方式を教えてください

20件の回答



当フォーラムのことを何でお知りになりましたか。(複数選択可)

19件の回答



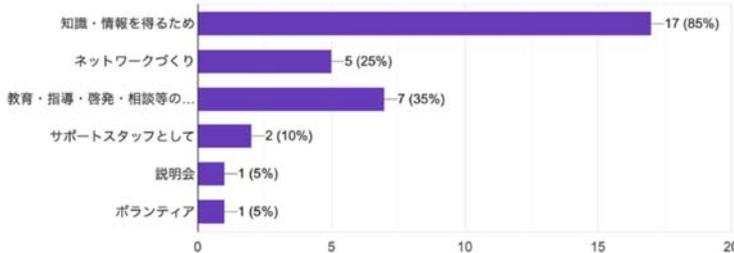
フォーラムについてのご感想をお願いします。

20件の回答



当フォーラムに来場して下さった目的は何ですか。(複数選択可)

20件の回答

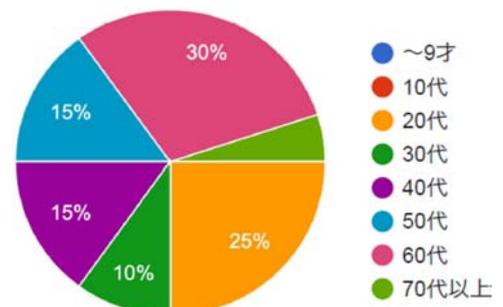


回答者の背景

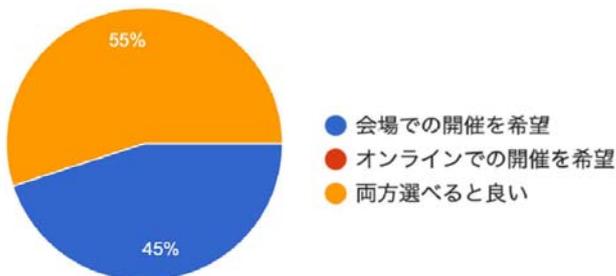
1. 居住地



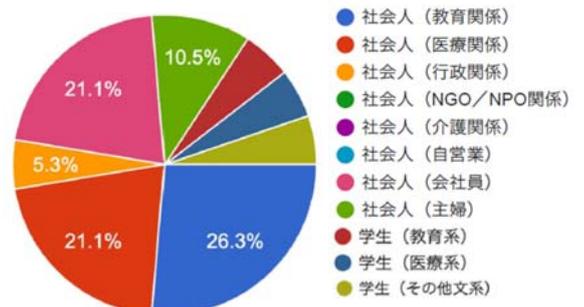
2. 年齢



今後のフォーラムの開催方法について(20件の回答)



3. 職業



今後AIDS文化フォーラムin京都に期待されることがありましたらお書きください

- ・今回の開催場所が入り口から分かりにくかったので、所々案内があるといいです。
- ・3年ぶりのリアル開催で、講演が少なく感じました来年もよろしくお願ひします
- ・これからも、積極的に参加したい
- ・教育現場での実践
- ・更なる啓発を通じて一般の方へのHIVへの偏見解消に繋がるものと思います。
- ・コロナ前のように多くの発表をリアルに聞きたいと思ひます。

AIDS文化フォーラムin京都 趣意書

背景

1994年、アジアで初めての国際エイズ会議である「第10回国際エイズ会議」が横浜で開催されましたが、国際会議に並行して草の根市民版エイズフォーラムが立ち上げられました。以降、市民の手ですべての人に開かれた場として「AIDS文化フォーラムin横浜」が毎年8月に開催され、全国各地でHIV/エイズに取り組む団体・個人の発表・交流の場として、また多くの市民、特に若者に向けての啓発の場として定着しています。

関西は現在HIV新規感染者数が急増している地域で、その中で京都は、学生層が多く集う町であり、また日本古来の文化が根付く町であると同時に外国人観光客も多く、異文化交流の場でもあります。

今回、横浜の思いと経験を受けついで京都でも「AIDS文化フォーラムin京都」を開催しようと組織（運営委員会）を設立いたしました。エイズの問題に取り組むにあたり、日常のさまざまな領域に関わる必要があります。そのことを文化としてとらえ「AIDS文化フォーラム」と名付けています。

AIDS文化フォーラムin京都の目的

I. エイズ問題の啓発

- ①市民に開かれたフォーラムによって、エイズが抱える問題を社会に浸透させる。
- ②エイズ問題について、人間として必要な文化の領域からのアプローチを試みる。
- ③特に若い世代へ、エイズに関する有益となる情報を提供する。
- ④学校教育について考える機会とし、特に性教育に関してオープンになることを期待する。

II. 多様性を理解する

- ①性と文化、性教育、性のあり方等を考える機会とする。
- ②異なった意見や考え方を大切にする。

III. とともに生きる

- ①エイズは日本を超え地球規模の問題であり、ともに考え問題を分かち合い、ともに生きる世界の実現に努める。
- ②HIV陽性者の支援・交流の機会とする。
- ③人間のうちにある差別や偏見をなくし、人権を大切にするよう努める。

(2011年1月31日)

主催：AIDS文化フォーラムin京都 運営委員会

「AIDS文化フォーラムin京都」 運営委員会規約

1. 名称

この会は「AIDS文化フォーラムin京都」運営委員会と称する。(以下、「運営委員会」と略す)

2. 趣旨

1994年、アジアで初めての国際エイズ会議である「第10回国際エイズ会議」が横浜で開催されましたが、国際会議に並行して草の根市民版エイズフォーラムが立ち上げられました。以降、市民の手ですべての人に開かれた場として「AIDS文化フォーラム in横浜」が毎年8月に開催され、全国各地でHIV/エイズに取り組む団体・個人の発表・交流の場として、また多くの市民、特に若者に向けての啓発の場として定着しています。

関西は現在HIV新規感染者数が急増している地域で、その中で京都は、学生層が多く集う町であり、また日本古来の文化が根付く町であると同時に外国人観光客も多く、異文化交流の場でもあります。

今回、横浜の思いと経験を受けついで京都でも「AIDS文化フォーラムin京都」を開催しようと組織(運営委員会)を設立いたしました。

3. 目的

I. エイズ問題の啓発

- ①市民に開かれたフォーラムによって、エイズが抱える問題を社会に浸透させる。
- ②エイズ問題について、人間として必要な文化の領域からのアプローチを試みる。
- ③特に若い世代へ、エイズに関する有益となる情報を提供する。
- ④学校教育について考える機会とし、特に性教育に関してオープンになることを期待する。

II. 多様性を理解する

- ①性と文化、性教育、性のあり方等を考える機会とする。
- ②異なった意見や考え方を大切にする。

III. ともに生きる

- ①エイズは日本を超え地球規模の問題であり、ともに考え問題を分かち合い、ともに生きる世界の実現に努める。
- ②HIV陽性者の支援・交流の機会とする。
- ③人間のうちにある差別や偏見をなくし、人権を大切にしよう努める。

4. 構成

運営委員会は、エイズ問題に関心を持つ諸団体および個人で組織する。

運営委員会に代表幹事1名と幹事を若干名おく。なお、代表幹事ならびに幹事は運営委員会で選任する。

5. 運営費

フォーラムの運営に必要な経費は、運営委員からの拠出金ならびに寄付金及び助成金をもってまかなうものとする。

6. 運営委員会の役割

「AIDS文化フォーラムin京都」開催の主催者となり、このフォーラム開催に関して最終責任を負う。

7. 運営委員会幹事の役割

「AIDS文化フォーラムin京都」開催にむけて運営委員会を円滑にすすめる。

8. 事務局の設置と役割

運営委員会の事務局を京都YMCA内に設置し、事務局長1名をおく。

事務局ならびに事務局長は運営委員会との連絡調整を行い、フォーラムの円滑な運営を助ける。

9. 年度及び任期

運営委員会の年度および会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

運営委員および幹事の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

初年度はこの規約の制定日から翌年3月31日までとする。

10. その他この規約に定めるものの他、運営委員会に関して必要な事項は運営委員会の議を経て定めるものとする。

(付則)この規約は、2011年3月4日から施行する112011年5月12日改正

第12回 AIDS文化フォーラムin京都

主催： AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会

共催： 京都府 京都市

後援： 舞鶴市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、(公財)京都YMCA、京都第一赤十字病院、日本赤十字社京都府支部、(公財)エイズ予防財団、(一社)京都府医師会、(一社)京都府歯科医師会、(一社)京都府薬剤師会、(一社)京都私立病院協会、(一社)京都府病院協会、(公社)京都府看護協会、(公社)京都府介護支援専門員会、京滋HIVカンファレンス、NPO法人ネットワーク医療と人権、関西HIV臨床カンファレンス、同志社大学社会学部社会福祉学科、龍谷大学、龍谷大学人権問題研究委員会、龍谷大学犯罪学研究センター、龍谷大学社会的孤立回復支援研究センター、アディクション・トランス・アドヴォカシー・ネットワーク研究センター、(公財)京都YWCA、京都YMCAボランティアビューロ、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部、(公社)京都府青少年育成協会、(公財)京都市ユースサービス協会、京都青少年ゆめネットワーク、京都府レクリエーション協会、日本ボーイスカウト京都連盟、(一社)ガールスカウト京都府連盟、(公財)大学コンソーシアム京都、(一社)京都府専修学校各種学校協会、(公財)京都私学振興会、(公財)京都府国際センター、(公財)京都市国際交流協会、(社福)京都府社会福祉協議会、(社福)京都市社会福祉協議会、(公社)日本キリスト教海外医療協力会/ JOCS、JICA関西、京都キリスト教協議会、PLANET、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都新聞、朝日新聞京都総局、読売新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、京都リビング新聞社、カトリック新聞社

会場提供： 龍谷大学

令和4年度京都府地域交響プロジェクト支援事業

AIDS文化フォーラムin横浜・京都・名古屋の企画は(公財)エイズ予防財団の助成金の支援を受けて実施しました

京都市はぐくみプラン



AIDS文化フォーラム in 京都

運営委員会は、

ボランティアスタッフで構成されています。

ご協賛に感謝申し上げます。

| 協賛企業 一覧(順不同、敬称略) | |
|------------------|----------------|
| ヴィーブヘルスケア株式会社 | 塩野義製薬株式会社 |
| 中外製薬株式会社 | バイエル薬品株式会社 |
| 武田薬品工業株式会社 | コカ・コーラウエスト株式会社 |
| オカモト株式会社 | 株式会社TENGAヘルスケア |
| 個人協力：乙坂優次 | |

第12回 AIDS文化フォーラム in 京都

もう一度考えよう HIV/AIDS

～「つなぐ」「つながる」今、できること～

レッドリボン大作戦

2022 10.8 12:30～14:30
2022 10.9 10:00～17:00

龍谷大学
深草キャンパス 和朗館

協賛企業一覧(順不同、敬称略)

個人協力：乙坂優次

参加団体、サポートスタッフ **大募集!**

もう一度考えよう HIV/AIDS 第12回 AIDS文化フォーラム in 京都 プログラム

| 10月8日(土) | | | |
|----------|-------------------------------------|---|---|
| 時間 | 12:30～14:30 | 14:30～16:30 | 16:30～18:30 |
| 会場 | 和朗館 | 和朗館 | 和朗館 |
| 内容 | 開会式 全体会「もう一度考えよう HIV、性感染症、新型コロナ」 | 講演会 「HIV、性感染症、新型コロナはどんな共通点や違いがあるのか?」 「HIV/AIDSと性感染症」 「HIV/AIDSと性感染症」 | 講演会 「HIV/AIDSと性感染症」 「HIV/AIDSと性感染症」 |

| 10月9日(日) | | | | |
|----------|----------------------------|------------------------|------------------------|----------------------------|
| 時間 | 10:00～11:30 | 13:00～14:30 | 15:00～16:30 | 18:30～19:00 |
| 会場 | 和朗館 | 和朗館 | 和朗館 | 和朗館 |
| 内容 | 開会式 「もう一度考えよう HIV/AIDS」 | 講演会 「HIV/AIDSと性感染症」 | 講演会 「HIV/AIDSと性感染症」 | 閉会式 「もう一度考えよう HIV/AIDS」 |

【協賛企業】
 ○ 龍谷大学の京都府健康対策部、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課
 ○ 京都府健康対策部、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課
 ○ 京都府健康対策部、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課
 ○ 京都府健康対策部、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課、京都府健康推進課

チラシ・ポスターデザイン担当: 大野 愛
 陽だまろ君デザイン: 池田 勝俊

第12回AIDS文化フォーラムin京都を支えた人たち

- 代表幹事** 高折 晃史 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学教授
京都大学医学部附属病院 副病院長
- 幹事** 大野 聖子 京都第一赤十字病院 感染制御部 医師嘱託
白野 倫徳 大阪市立総合医療センター感染症内科 部長
高畑 吉博 HIV陽性者支援団体 さぼーと京都 代表
林 滋 薬剤師
高田 雅弘 摂南大学 薬学部薬学科 教授
加藤 武士 一般社団法人 回復支援の会 木津川ダルク 代表
加藤 俊明 京都YMCA 総主事
- 事務局** 京都YMCA 〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
tel. 075-231-4388 fax 075-251-0970
E-mail: information@hiv-kyoto.com URL: http://hiv-kyoto.com
- 事務局長** 大野 聖子

龍谷大学担当者 安食 真城

運営委員、サポートスタッフ（順不同・敬称略）

| | | | | | |
|--------|---------|-------|--------|-------------|-------|
| 木下 浩一 | 金井 修 | 半井 達弥 | 中川 拓也 | 荒田 恵 | 岡部茉莉子 |
| 今崎 匡裕 | 上領 孝枝 | 長谷川咲紀 | 野村 裕美 | 淀 宏 | 畠山 雅行 |
| 小田切孝子 | 寺口 淳子 | 小嶋 薫 | 國府 宙世 | 隈村 綾子 | 藤川 満 |
| 池田 勝俊 | 中村 美紀 | 藤原 巧 | 迫田 直樹 | 小林 マキ | 光武 泰子 |
| 里 英子 | 山田二三男 | 小林 和博 | 福永 智大 | 佐藤 文寛 | 濱田 佳穂 |
| 岡本 直子 | 堀之内 潤 | 井村 春樹 | 来住 知美 | 佐々木 彩 | 田中 葉子 |
| 森 佑平 | 稲福 愛 | 井尻 聖 | 國枝 真帆 | 入江 柊太 | 東 由美香 |
| 瀬ノ口智尋 | 友谷 将太 | 乙坂 優次 | 金銅 良明 | 木津川ダルクの仲間たち | |
| 塚田 留三子 | 空 慧 | 横山 紀江 | 増岡 広志 | さの ひでこ | 張 依健 |
| 淀 (ヒロ) | 笑実(えみ) | 浦 ひかり | くしろみほこ | 寺澤 真琴 | みつき |
| はのん あや | さおり ひなた | きよか | 江見日菜乃 | 岸本 樹菜 | 内田 愛 |
| 中野 京葵 | 松井 久典 | 藤本 | 西川 敏江 | なかじしゅんすけ | |
| 小方 美桜 | 寺田 和美 | くしろ | 小菅 愛 | りん | 塩見 乙華 |
| 加藤 明子 | 大前千代子 | 柿迫 真由 | 須藤 恵美 | 山本 知恵 | 神崎 清一 |
| 浅井 陽子 | 久保田展史 | 藤尾 実 | 岩室 紳也 | 古川 潤哉 | 籠谷 倫信 |

Web 配信担当 清水 亮空 佐藤 文寛

デザイン担当 池田 勝俊（報告書） 大野 愛（チラシ・ポスター・当日パンフレット）

AIDS文化フォーラムin横浜運営委員の皆様

AIDS文化フォーラムin陸前高田運営委員の皆様

AIDS文化フォーラムin佐賀運営委員の皆様

AIDS文化フォーラムin名古屋運営委員の皆様

ひだまりの場所

作詞:井筒日美／江藤天音 作曲:江藤天音

言葉じゃうまく言えなくて
涙と一緒に飲み込んだ
こんなにそばにいるのにね
星よりもずっと遠かった

打ち明けてすべて失くしてしまっても
自分への嘘で泣くよりいいだろう
ずっとそばで逃げたくない
満ちることのない月よ

そっと傷ついた心に
やさしく触れ ありのままの 僕を解き放つ君は
どんなずぶぬれの僕でも
あのひだまりのように包んでくれる

心が叫びだしそうで
消せない願いがあふれ出す
孤独な心と体は
自分で自分を許せない

現実の壁に押し返されても
自分の心にまっすぐ生きよう
はがゆくてもあきらめない
満ちることのない月よ

きっと踏み出していけるよ
ずっとそばに 変わらないで いてくれたから僕は
やっと自分を愛せるよ
あのひだまりのような君のそばで

打ち明けてすべて失くしてしまっても
自分への嘘で泣くよりいいだろう
ずっとそばで逃げたくない
満ちることのない月よ

そっと傷ついた心に
やさしく触れ ありのままの 僕を解き放つ君は
どんなずぶぬれの僕でも
あのひだまりのように包んでくれる





より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、
革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。
医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Science for a better life

PP-OTH-JP-0431-02-06



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、
事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



第13回
「AIDS文化フォーラムin京都」は
2023年秋に開催予定です!



*** あなたも ***
*** 参加しませんか? ***

● **参加団体として!**

HIV/AIDSに関する視点をもった内容であれば、どなたでもご参加頂けます。講演・ワークショップ・展示など、発表の形式は自由で、教育・若者・国際・医療をはじめとして多様な切り口からの発表を募集しています。

● **サポートスタッフとして!**

サポートスタッフとして、フォーラムに参加しませんか? 小学生から社会人の方まで、幅広い年齢層の方々のご参加をお待ちしています。

※ 募集は5月頃からホームページやチラシ等でご案内予定です。

お問い合わせ =

AIDS文化フォーラムin京都 事務局

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA

tel:075-231-4388 fax:075-251-0970

mail:information@hiv-kyoto.com

twitter:@bunka_forum

facebook:https://www.facebook.com/AidsBunkaForum



AIDS文化フォーラムin京都
キャラクター
「陽だまる」

k chada

<http://hiv-kyoto.com>

